

研究成果報告（要旨）
2013年1月

アートと遊びの活用によるゴミ分別意識の向上
—タイ東北地方コンケン県教育科学センターでの試み—

指導 牧田 東一 教授

国際学研究科
国際協力専攻
209J1052
飯塚 紗彩

目 次

第1章	はじめに	
1-1	アートと国際協力.....	1
1-2	世界の環境問題とタイ中進国化に伴う社会問題.....	5
第2章	環境・ゴミ問題の位置づけ	
2-1	タイ政府政策の中での位置づけ.....	8
2-2	JICA. の援助方針の中での位置づけ.....	9
第3章	タイのゴミ事情	
3-1	タイ国におけるゴミ分別の状況.....	13
3-2	地方におけるゴミの分別状況とゴミ分別の必要性.....	15
第4章	コンケン県教育科学センターの取り組み	
4-1	コンケン県教育科学センターについて.....	19
4-2	ボランティア派遣要請と環境活動までの道のり.....	20
4-3	センターのゴミ状況と取り組み.....	22
4-4	ゴミプロジェクトの実施.....	23
	(a) アートを用いたオリジナルゴミ箱の導入	
	(b) ゴミ銀行	
	(c) 3R クラフト活動	
	(d) 地球環境世界児童絵画コンテスト	
	(e) 魚の餌とリユースカップ	
	(f) ココナッツコンポスト	
	(g) 職員への講習会「ゴミ先生になろう！」	
	(h) チームで仕事をする事	
4-5	成功の要因.....	42
	(a) アートの効果	
	(b) 遊びの効果	
	(c) チームワーク形成	
終章	おわりに 2年3ヶ月のボランティア活動を通して ～今後のプロジェクト持続可能性と教訓～	
5-1	プロジェクト持続可能性.....	49
5-2	アートの持つ可能性とこれからの国際協力.....	52
引用・参考文献、資料.....		i,ii,iii

要 旨

2012 年中進国化したタイ。経済成長も勢いに乗り、新たな消費社会の到来を迎えた。人間の便利さを求めた開発の先に見えたのは深刻な環境悪化であった。「地球温暖化」という言葉がいつの間にか地球共通の単語となり、その影響は確実に我々人類のもとまで訪れている。明らかな気候変動により世界で起きた大規模自然災害は日々メディアを通して我々に届く。画面越しに見る世界は、遠い国で起こっている事ではなく、実は我々のすぐそばまでやってきているのである。2011 年に起きた自然災害は世界全体で 820 件、死亡者は 2 万 7,000 人にも上り、経済損失は 3,800 億ドルに達している[温暖化新聞 2012]。2011 年 3 月、世界に衝撃を与えた大津波、まさかと思う光景が日本東北地方を襲い、一瞬にして多くの尊い人の命を奪った。水が海を越え家を、学校を、そして 1 万 5,840 名もの命を連れ去っていったあのすさまじい光景は誰しもの頭に焼き付いている。大きな悲しみに包まれた日本に世界中からエールが届いた。中でも東南アジアに位置し、長年日本と友好関係を築いているタイからは 1,500 万円もの寄付金が届いた。その背景には、多くの国民個人レベルでの支援活動が存在する。同年、今度はタイが大規模洪水に見舞われた。例年と異なる豪雨の訪れは、ダムや河川を氾濫させ、長期間にわたって多くの人が水の中での生活を余儀なくされた。

2011 年に起きた自然災害のうち実に 91%が気象に関するものである[温暖化新聞 2012]。気象に影響をもたらす、温暖化や気候変動の原因はどこにあるのか。それは我々人間が作り出してしまった現実ではないだろうか。我々人類が開発を続けることは、環境を壊し、環境の中にある命を消し去ることなのか。しかし、本来人間とは環境の中で生まれ、環境の恵みで命を育み、最後は自然のもとへと帰っていく、地球に生きる命の一つであったはずである。その証拠に、我々の文化の中には自然や環境から生まれた思想が存在し、その文化の中には人間の心を豊かにするアートや遊びの要素が含まれている。我々は人間の本質を思い出し、環境と共存するための新たな開発の形を探していかなければならない。

環境問題を目の当たりにし、新たな開発を考える中で、まず考えなければならないのは、環境破壊に加担せず、環境と共存している命にまっさきに被害が及んでいることである。と言うことは、環境破壊に加担している我々に被害が届くときは、事態はすでに手遅れになってしまう可能性がある。この問題への対策は急速に進めなければならず、また地球規模で、協力する必要がある。

21 世紀に入り、日本とタイは一層親密な友好関係を築いている。ASEAN+3 形成にあたり、積極的なタイへの援助は、今までの援助概念を超え、新たな協力関係を築いている。また、タイと日本がパートナーシップを組むことは、近い将来第三国援助として、周辺地域国の安全保障、平和・安全にも寄与することとなるであろう[JICA2003]。またタイが住民参加の環境対策に成功することは、それを世界に普及することも可能になるということである。

本研究報告では、中進国となったタイが今後世界とかかわる中で、世界規模で取り組まなければならない環境政策に対してどのような取り組みを行っているか。また、人間にとって最も身近な「ゴミ」を取り上げ、タイで行っているゴミ削減活動や政府政策、日本が行うタイへの環境対策への援助を紹介。また、筆者が 2010 年 3 月から 2 年 3 カ月間、青年海外協力隊員として活動し行った、タイにおける地域住民参加型の環境教育活動並びに、現場レベルで行えるゴミ削減への取り組み、分別意識向上に、アートや遊

びを活用した事例、効果を分析した成果を紹介する。そして、タイでの活動経験を通して学んだ、東北タイの人々の環境との共存方法、環境から育むタイらしさ、タイのココロに注目し、我々が迎える新時代に適したこれからの国際協力を考える。

【参考文献（和書）】

- 有馬頼底（2012）『よろこびの禅—人生を変える禅のことば』角川ワンテーマ 21
- 池口孝(出版年不詳)「開発途上国のごみ処理—現状課題、そして解決策—」株式会社イーエヌツープラス
- 石弘之（1988）『地球環境報告書』岩波新書
- 門脇厚司（1999）『子どもの社会力』岩波新書
- 川喜田二郎（1967）『可能性の探検 地球学の構想』講談社現代新書
- 環境省（1999）「タイにおける環境問題の現状と環境保全施策の概要」
- 菅野芳秀（2002）『土はいのちのみなもと 生ごみはよみがえる』講談社
- 倉島孝行（2007）『タイの森林消失—1990年代の民主化と政治的メカニズム』明石書店
- 経済産業省（2011）「タイ王国」
- コーネル、ジョセフ・B（2007）『Joseph Cornell's ネイチャーゲーム 1』柏書房
- 左巻健男、金谷健 編著（2004）『ごみ問題 100 の知識』東京書籍
- 坂本隆一、中沢新一（2010）『縄文聖地巡礼』木楽舎
- 重富真一（1996）『タイ農村の開発と住民組織』アジア経済研究所
- 清水満（1997）『共感する心表現する身体 美的経験を大切に』新評論
- 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局編（2013）「クロスロード 2013 年 2 月号 『JICA ボランティア的プチテクガイド』」国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局発行
- 末廣昭（1993）『タイ 開発と民主主義』岩波新書
- 末廣昭（2009）『タイ 中進国の模索』岩波新書
- 鈴木克徳（金沢大学フロンティアサイエンス機構）（2009）「廃棄物処理に関する国際的動向第 3 回『タイの廃棄物管理とリサイクル政策』」公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター
- 仙田満（1992）『子どもとあそび』岩波新書
- 田村明（2005）『まちづくりと景観』岩波新書
- 日本タイ教会編（2008）『現代タイ動向』めこん
- 野中耕一編（2004）『自己開発 上座仏教の心髄』NGO と開発シリーズ No.6
- 服部正（2009）『アウトサイダー・アート 現代美術が忘れた「芸術」』光文社新書
- 東山明、東山直美（1999）『子どもの絵は何を語るか 発達科学の視点から』NHK ブックス
- 平田オリザ（2008）『芸術立国論』集英社新書
- 平田オリザ（2012）『わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か』講談社現代新書
- ひろさちや（2012）『人生あきらめるとうまくいく』幻冬舎
- 茂木健一郎（2010）『芸術脳』新潮文庫
- 安井至（2008）『図解雑学 環境問題』ナツメ社
- 山折哲雄（2009）『いま、こころを育むとは 本当の豊かさを求めて』小学館新書
- レヴィ=ストロース、クロード（2005）『みる きく よむ』みすず書房
- JICA 国際協力総合研究所（2003）「タイ国別援助研究会報告書—『援助』から『新しい協力関係』へ—」独立行政法人国際協力機構
- JICA タイ事務所（2012）「タイにおける JICA 事業概要」独立行政法人国際協力機構
- 同上（2003）「タイに対する基本認識とわが国の ODA のあり方」独立行政法人国際協力機構
- SVA 曹洞宗国際ボランティア会編（1996）『タイ・カンボジア・ラオス 国際教育協力の現場から アジア・共生・NGO』明石書店

【参考資料】

〈タイ語〉

สำนักงานสิ่งแวดล้อมภาคที่ 10 ร่วมกับ เทศบาลนครขอนแก่น

สำนักงานทรัพยากรธรรมชาติและสิ่งแวดล้อมจังหวัดขอนแก่น

กรมควบคุมมลพิษ (2009) “แลกเปลี่ยนประสบการณ์

การจัดการขยะมูลฝอยชุมชนระดับภาค

(環境保全推進局、公害管理局、テッサバーンコンケン合同ゴミ管理報告書) ”

กลุ่มงานสิ่งแวดล้อม สำนักงานทรัพยากรธรรมชาติและสิ่งแวดล้อมจังหวัดพิษณุโลก

(Pollution Control Department) (2007) “คู่มือประชาชน (公害監視局作成ゴミ分別種紹介パン

フレット) ”

กรมส่งเสริมคุณภาพสิ่งแวดล้อม (Department of Environmental Quality) (2009)

“โครงการประกวดธนาคารขยะรีไซเคิลปี2552 (環境保全推進局作成ゴミ銀行プロジェクトパンフレット) ”

กรมควบคุมมลพิษ(POLLTION CONTROL DEPARTMENT) (2008) “คู่มือประชาชน

เพื่อการลดคัดแยกและใช้ประโยชน์ขยะมูลฝอยชุมชน”

สำนักสิ่งแวดล้อม กรุงเทพมหานคร (2010) “โครงการประกวด

สร้างสรรค์สิ่งประดิษฐ์จากวัสดุเหลือใช้ ปี2553”

กรมส่งเสริมคุณภาพสิ่งแวดล้อม กระทรวงทรัพยากรธรรมชาติและสิ่งแวดล้อม (2010)

“โครงการบรมเพิ่มศักยภาพ ธนาคารขยะรีไซเคิลธนาคารเพื่อสิ่งแวดล้อม”

ศูนย์วิทยาศาสตร์เพื่อการศึกษาขอนแก่น (出版年不詳)

“แนวคิดปรัชญาเศรษฐกิจพอเพียง”

ศูนย์วิทยาศาสตร์เพื่อการศึกษาขอนแก่น (出版年不詳) “ภาวะโลกร้อน(Global warming) ”

〈英語〉

Sharp,Alice(2008) “Waste to Energy: A case study from Thailand” Sirindhorn International Institute of Technology Thammasat Univeristy

UNEP(2010) “Waste and Climate Change,” *Global Trends and Strategy Framework*

【参考 HP】

[温暖化新聞](#)

http://daily-ondanka.com/news/2012/20120424_1.html

外務省 政府開発援助 ODA HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/doukou/mdgs/about.html#report>

外務省 ODA 広報・資料 ODA 個別評価

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/thailand/kn02_01_0500.html

経済産業省 HP <http://www.meti.go.jp/>

コンケン県教育科学センター HP <http://www.kksci.com/index.php>

国際発達ケア；エンパワメント研究室 HP

<http://square.umin.ac.jp/anme/research/anme/EMP2.html>

社会実情データ図録 HP <http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/2770.html>

タイ政府組織一覧 <http://www.geocities.co.jp/WallStreet/2800/gov/thailand.html>

タイ環境保全推進局 HP <http://www.deqp.go.th/>

タイ公害監視局 HP <http://www.pcd.go.th/>
独立行政法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センターHP
<http://www-cycle.nies.go.jp/magazine/mame/20100524.htm>
日本経済新聞 HP (2011) 「タイ洪水、日系企業の被害拡大 操業停止長期化も」
http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD12021_S1A011C1MM0000/
猫アリーナ <http://nekoarena.blog31.fc2.com/blog-entry-1714.html>
横浜経済新聞 HP <http://www.hamakei.com/column/185/>
Children of Peace HP
<http://mioinakayama.blogspot.jp/2008/06/blog-post.html#!/2008/06/blog-post.html>
EM 研究機構 HP <http://www.emro.co.jp/em/index.html>
南山大学 HP “Environmental Problems and Green Lifestyles in Thailand” (PDF)
http://www.nanzan-u.ac.jp/English/aseaccu/venue/pdf/2011_05.pdf
Gawad Kalinga HP <http://www.gk1world.com/>
日本エネルギー研究所 HP IEEJ2004 年 11 月掲載「タイ、インドネシアの環境政策の現状」
(PDF)
<http://eneken.ieej.or.jp/data/pdf/953.pdf#search=%27%E3%82%BF%E3%82%A4%E6%94%BF%E5%BA%9C%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E7%92%B0%E5%A2%83%E6%94%BF%E7%AD%96%27>
JICA ボランティア HP <http://jocv-info.jica.go.jp/jv/>
JOCA 青年海外協力協会 HP 「自治体の国際交流に生かす協力隊経験」 (2012)
<http://www.joca.or.jp/activites/disaster/tohokuearthquake/iwate/20121220.html>
PETA HP <http://petatheater.com/>
The World Bank HP “What a Waste: A Global Review of Solid Waste Management”
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/TOPICS/EXTURBANDEVELOPMENT/0,,contentMDK:23172887~pagePK:210058~piPK:210062~theSitePK:337178,00.html>
Sustainalytics HP “Waste in Asia” (PDF)
http://www.responsible-research.com/Waste_in_Asia-Issues_for_Responsible_Investors-Executive_Summary.pdf